

平成27年度 各郡市の研究活動報告（新発田市・北蒲原郡）

会 長 坂井 智
副会長 小川 洋文
齋木 正美
評議員 坂井 智

1 研究活動の方針

(1) 活動方針

新潟県小学校教育研究会と連携して会員相互の研修を深め、教育実践の充実・向上を目指す。

(2) 活動の重点

- 授業研究を中心とした研修を進め、近隣の市町村等からも広く指導者を招聘し研修の充実を図る。
- 部長・副部長を対象としたリーダース・トレーニング研修を継続する。加えて今日的な課題についての全体研修会を実施する。
- 新学習指導要領、市、町の教育委員会の教育方針を踏まえ、活動の充実に努める。

2 研究活動の実際

(1) 各研究部（専門部）による研修の充実

19部会を設置し、部会ごとに年3回の研修会を実施した。そのうち1回は授業研究を原則とするなど、研修会の充実を図った。また、部会をA部会（国語・算数など）、B部会（道徳・特活など）に分けて研修日を設定し、会員が複数の部会に参加できるようにしている。

2回目以降の部会では、リーダース・トレーニングで研修したファシリテーションの手法を用いた授業検討会を実施するなど、会員一人一人の意見や考えが反映されるよう工夫した。

(2) リーダース・トレーニング研修の実施

各研究部の部長・副部長を対象に「リーダース・トレーニング研修会」を実施した。本丸中学校永野修教諭を講師として招聘し、ファシリテーションの手法を用いて各部会運営についての話し合いを実施した。会員がより主体的に参加する部会運営について協議・演習が活発に行われた。

(3) 全体研修会の実施

夏季休業中、全会員を対象に、学習指導改善調査をふまえた算数科の模擬授業と講演会を実施した。具体的な授業場面を踏まえ、授業改善への意欲と具体的な手がかりを得ることができる研修となった。

(4) 研究紀要の刊行

年度末に研究紀要を刊行し、全会員に配付する。

3 郡市小教研が関係した研究会

学校指定の研究会は実施せず、各教科・領域ごとに授業研究等を行う。